



ひまわり通信



山手こひつじ保育園子育て情報誌 34号

処暑が過ぎ、この頃から暑さが落ち着く時期と言われていますが、まだまだ残暑も厳しく暑いですね。初めての夏を迎えた赤ちゃんも多かったと思います。元気に過ごすことができたでしょうか？夏の疲れが出やすい時期ですのでゆっくりお過ごしください。また9月になりましたら、地域活動も再開されますので、どうぞ遊びに来てくださいね。

今回は誤飲についてお知らせします。

小さいお子さんは日々成長、発達しています。昨日できなかったことが、今日できるようになります。何でも口に入れてしまう時期もありますので、誤飲には十分気をつけましょう。

○ 6ヵ月になったら、何でも口に入れるようになります。

誤飲や窒息が始まる時期を知っておく必要があります。早い子では、5ヵ月から「物をつかむ」、つかんだら「口に入れる」行動が見られます。それ以降、何でも口に入れるのは1歳2-3か月までのお子さんです。日本は床の上に物を置く生活のため、乳児の誤飲の発生率は高いのです。乳児はトイレットペーパーの芯(39mm)を通る大きさのものなら、口の中に入れてしまい飲み込む危険性があります。また、小さなビニール片でさえ、のどに詰まらせてしまう事があります。

○ **危険性が高いものは何かを知っておきましょう。** 乳児がティッシュペーパーを口に入れていた、というような状況 100%起こるといっても過言ではありません。誤飲したものの多くは、危険性は高くありません。しかし、いくつか危険なものがあります。覚えておいてほしいものは3つです。

①**ボタン電池**： 飲み込んだ電池が胃の中に入ってしまうと、それほど危険性は高くありませんが、食道にとどまると、たいへん危険です。分の単位で食道の粘膜がただれはじめ、中には大動脈まで穴が開いて死亡することもあります。

②**灯油**： 水と間違えて飲み込むことがあります。胃から逆流すると、灯油の蒸気が気管から肺に入り、ひどい肺炎を起こします。

③**キャンドル・オイル**： 色がついていることが多く、飲み込む子があります。これも灯油と同じ状況で、肺炎を起こします。

○ 年齢に応じた大きさや形状にして食べさせる、びっくりさせない。

乳幼児は、大きな食べ物を丸飲みしたり、びっくりして飲み込んでしまい窒息することがあります。成長段階に応じ、食べ物は適切な大きさに切る、つぶすなどして食べさせ、食事中に大きな声で呼ぶなど乳幼児をびっくりさせるようなことはやめましょう。また、歩きながらや寝ながら食べさせることもやめましょう。

消防庁HPを参照しました

9月の地域活動

● 出前保育「いっしょにあそびましょう」

9月9日(水)

10:00~11:00頃まで

白糸台中央公園内の中部公会堂にて当園の保育士が出し物をしたり、ふれあい遊びをして一緒にあそびます。

● 子育て支援サークル「まあるくな〜れ」

小さいお子さんをお持ちのみなさん、まあるく輪になっておしゃべりを楽しみましょう。9月2日(火)・16日(水) 10:00~

● コスモスコンサート

9月12日(土)

出演：アンサンブルちょうちょ 10:00~11:00頃まで

小さいお子さんも楽しめます。どうぞご参加ください。

地域活動に参加される方はお電話、または来園してお申し込みください。

パートナー保育登録をお願いします

登録をお願いします。お時間がある時に保育園までお越しください。特別事業参加時には登録のご協力をお願いしています。



山手こひつじ保育園

2015・8・25発行

府中市白糸台4-13-8

TEL 042-314-0840